

<虫博士入門>「足は何本？」（記：高松真津子）

1. 実施日時：2026年7月18日（土） 13時～15時30分
2. 実施場所：大阪市教育会館東館 305号室
3. 実験テーマ：<虫博士入門・足は何本？> もの作りテーマ：<リアルアリ模型を作ろう>
4. 講師及びスタッフ：高松・百々・笠原・川合・小野・成林・山田・桑村・奥田・横山・林
5. 参加児童：26名
6. 評価

「楽しさ」

5. ***** 13名
4. ***** 8名
3. *** 3名 2. 0名 1. 0名

「内容」

- 5.***** 15名
4. ***** 6名
3. ** 2名 2. 0名 1. * 1名

7. 感想（同じ内容の感想は省略しました。）「 」は評価番号

- ・今日はいろいろなこんちゅうを知れてよかったです。（2年）「5・3」
- ・こんちゅうの話でとても楽しかった。（ 年）「5・5」
- ・ヘビやダンゴ虫は虫だと思っていたけれど、ちがうと聞いてビックリした。もの作り「リアルアリ模型」は少し作るのがむづかしかったけど、アリさんが出来てうれしかった。
（2年）「3・5」
- ・今日はいろんな虫が知れてたのしかったです。家に帰ってからもっと調べたいと思います。工作のアリを作るのが楽しかったです。（2年）「3・5」
- ・4本足のこんちゅうはいないと知った（1年）「4・4」
- ・いろいろな虫が出てきておもしろかった。たのしかった。（1年）「5・5」
- ・いろんな虫の足のかずをかぞえたこと（1年）「4・5」
- ・6本足はこんちゅうということが分かりました。アリをつくってみるとおもしろかったです。（2年）「3・4」
- ・虫がかわいかった。すごくいいアリができてうれしかった。（1年）「5・5」
- ・ちょっとお話がむずかしかった。アリのせいさくがたのしかった。（1年）「4・1」

8. 振り返り

実験教室スタートまでに或る保護者とのトラブルがあった。初めて参加した方で、小さい子どもがいるので、座席に座らせたいとの願いだった。

部屋も狭いと行くことがあり、今までの慣例上、保護者は立ってみて頂くことにはなっていたが、今回チラシ等にもその文面は描かれていなかったし、保護者も

前もって小さい子どもを同席させる旨を連絡済み・・・ということで、憤慨されて帰ってしまわれた。授業後の反省会で、「保護者の皆様にも参加いただき、子ども達と同じ目線で授業を楽しんでほしい」子ども達と同じ目線でという気持ちはスタッフも持っているのだが、先ずは子ども達の座席確保と環境作りを考える、全保護者の席を確保することは不可能なので、立って見学して頂くという事を明確にチラシ等に掲載しておく等、スタッフが共通理解をしておくことが大切だという意見が出された。



アリってどんな形？足は何本？体はいくつ？
いろいろ想像しながらかきました。皆に見せたい子が
たくさん！



楽しそうに授業を受けています。



これであってるかな？ちょっと自信ありみたい！



マイクに向かって一生懸命答えています。



チョウチョは足は何本あるかな？前に出てきて数えて
もらいました。前に出てきて自信たっぷり、数えます。
指示棒を持つのがうれしい。



これは簡単！すぐに足の数、わかったよ。



昆虫には背骨がない！？背骨ってどこ？
私の背骨を笠原さんに説明してもらいました。



「頭、胸、腹」3つをくっつけます。まん中の胸からくっつけると、やりやすいよ。



みんな真剣に作っています。スタッフも一生懸命サポートします。

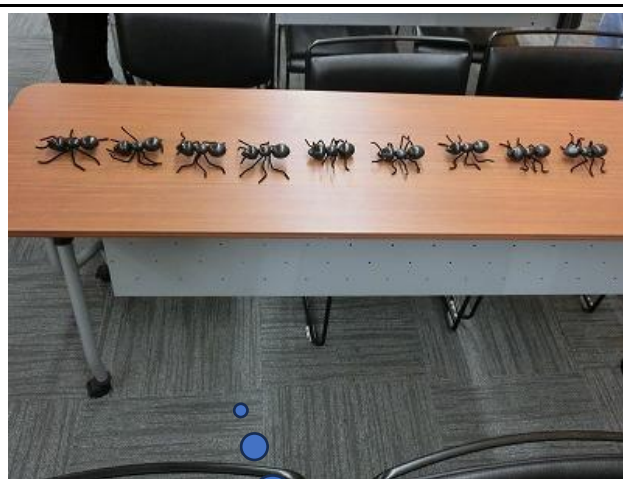


見て見て、できたよ！本物みたいだあ！後ろの子はできたアリを満足そうに眺めています。



<写真撮影：百々さん>

お友達と一緒に並べてみました。
本物っぽいアリさんになり。
「やったね！！」



作ったアリを並べてみました。
「わあ、アリの大群だあ。」

